

平成27年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成26年度実績)

担当課 25産業振興課

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	10760	事務事業コード	2516
事務事業名	メイド・イン・サドブランド創出事業				開始年度	平成26	終了年度	平成31
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	無し		例規等	佐渡産品提供店認定事業実施要綱、佐渡市地場産業振興支援事業補助金交付要綱		
将来ビジョン	1. 産業の振興 (2)生物多様性を基本とした販売戦略						H25: 重点●政策○	-
H26施政方針	1. 人口減少対策 (4)商工業の振興						H26: 重点●政策○	●
H27施政方針	1. 人口減少対策 (6)産業の振興 ③ 地産地消の一体的政策						H27: 重点●政策○	○
事業概要	1 サドメシラン推進事業 東京エリアからスタートさせた佐渡産品提供店(サドメシラン)を新潟、中部へと範囲を広げ、販路拡大や佐渡ファンを獲得機会を創出するため、サドメシランサミットin、名古屋を開催する。 2 地場産品販路開拓事業補助金 対象者を小規模な生産者にまで範囲を広げ、ビジネス機会を創出する。 3 ブランド化促進事業 ブランド力を高めるため、首都圏等において物産展等に参加する。ブランド・販売力向上に貢献できる有用な物産展を厳選する。							
対象	佐渡にゆかりのある飲食店等、一般消費者							
意図(対象をどのようにしたいか)	佐渡にゆかりのある飲食店等を佐渡産品提供店(サドメシラン)として市が認定し、島内生産者と飲食店等のマッチングを図ることにより、消費者に広くPRする仕組みを構築する。また、ブランド力向上を図るため、効果的な物産展等の選択・参加により、地場産品の販路開拓を積極的に取り組む生産者等の橋渡し機会を創出する。							

Do

◆将来ビジョン成長力強化戦略指標◆

項目名	戦略指標	H24現状	H31目標
生産から販売までを連携させる産業構造改革	市内総生産	1,912億円/年	2,000億円/年

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	25年度実績値	26年度(評価年度)		27年度目標値	28年度目標値	31年度目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
サドメシラン認定店舗		店舗	-	60	61	100	120	150
算式	店舗数							
地場産品販路開拓事業補助金交付件数		件	-	20	32	40	40	40
算式	補助金交付件数							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名			H25決算額	H26決算額		H27当初予算額	H28以降の予算の方向性	重点細事業
	指標	目標(成果)指標名	単位	H25実績値	目標値	実績値	H27目標値	事業の方向性	
1	サドメシラン推進事業			0	1,925		6,538	予算	維持
	指標	店舗数	店舗	-	60	61	100	事業	
2	地場産品販路開拓事業補助金			0	1,760		1,600	予算	増額
	指標	補助金交付件数	件	-	20	32	40	事業	
3	ブランド化促進事業			0	5,018		2,979	予算	維持
	指標	物産展参加数	回	-	10	7	10	事業	
事業費の合計(千円)				0	8,703		11,117		
財源内訳				国庫支出金	0	3,227	3,904		
				県支出金	0	0	0		
				地方債	0	0	0		
				その他	0	0	0		
				一般財源	0	5,476	7,213		

Check

◆事務事業を構成する細事業の評価◆

A: 適正である B: 検討の余地あり C: 見直しすべき

枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	サドメシラン推進事業	B	A	A	認定店舗数の拡大のみならず、既認定店舗のフォローアップに注力し、販路の維持と構築に務める。
2	地場産品販路開拓事業補助金	B	A	A	事業についての周知を十分に行うことで、積極的に活用できる補助制度として、そのニーズに応える。
3	ブランド化促進事業	C	C	C	散発のイベントに終わらず、その後の販路として発展が期待できる物産についての参加を考える。

Action		◆今後の事務事業の方向性◆		
評価(担当課長)	事業の方向性	拡充	予算の方向性	増額
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策 など)	佐渡産品提供店(サドメシラン)について、既認定店舗のフォローアップの継続とサミットの開催により、島内生産者との結びつきを維持・拡大する。			